ARIB NEWS

一般社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

No.1518 2026 年 11 月 2 日

ARIB からのお知らせ

## Inter BEE 2026 への出展参加について

国際放送機器展(Inter BEE 2026)が、11 月 18 日（水）から同 20 日（金）まで幕張メッセで開催されます。

ARIB に設置されたデジタル放送普及活動作業班(DiBEG)では、地上デジタル放送日本方式(ISDB-T)の国際普及に向け、総務省とともに活動を行っています。本年度の Inter BEE では、これまでの ISDB-T の国際普及活動の概要を、パネル展示やパンフレットの配布等により紹介する予定です。

また、デジタル放送システム、スタジオ設備、素材伝送システム関連の規格の策定・改定状況と、地上デジタル放送方式の高度化に関する活動等についても紹介する予定です。

ARIB ブースは、ホール 3 の小間番号 3124 に設置されます。会員の皆様におかれましては、Inter BEE 2026 へのご来場の際には、ぜひ ARIB ブースにもお立ち寄りください。

※ご来場にあたっては、事前に Inter BEE 公式サイト(https://www.inter-bee.com/ja/)で入場登録（無料）をお願いいたします。

## ARIB 機関誌 No.134 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.134 を 10 月 30 日に発行しました。

本号では、当会の副会長による「巻頭言」を掲載しています。

また、「ARIB 活動報告」では、2026 年 7 月から 2026 年 9 月末までの活動報告を掲載しています。

ARIB 機関誌 No.134 掲載記事

【巻頭言】

・新時代における ARIB の取り組み　～高度で安定した電波利用環境の創出に向けて～
一般社団法人電波産業会　副会長　　伊藤　寿浩
（日本放送協会　理事・技師長）

・通信事業者連携が拓く新たな被災地支援の形
一般社団法人電波産業会　副会長　　海老原　孝
(NTT 株式会社　常務執行役員 技術企画部門長 CIO Co-CAIO)

【 ARIB 活動報告 】

電波の利用に関する調査、研究及び開発
　電波利用システムの調査研究
　電波利用システムの研究開発
　高度無線通信研究開発
　電磁環境調査研究
コンサルティング及び普及啓発
標準規格の策定
委員会報告
ARIB 日誌
出版物一覧
事務局の現状
　事務局だより




ARIB 機関誌電子版は、ARIB ホームページの「会員ページ」、「ARIB 機関誌」に掲載していますので、ご活用ください。

なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

## ARIB の動き

### CEATEC2026 国際ワークショップ「6G×AI が創る未来社会」の開催概要報告

CEATEC2026「6G×AI が創る未来社会」が 10 月 14 日（水）から 10 月 15 日（木）にかけて幕張メッセ国際会議場のコンベンションホール A において、総務省、XG モバイル推進フォーラム(XGMF)、一般社団法人電波産業会(ARIB)の共催により、オンライン併用にて開催されました。

1 日目(10 月 14 日)は、セッション 1「AI 時代の情報通信成長戦略」、セッション 2「Why 6G：6G が描く未来社会と新たな価値」、セッション 3「AI-Native 6G：通信と AI の融合で知能化する次世代通信基盤」、セッション 4「NTN：6G 時代のユビキタスコネクティビティを拓く」の 4 セッションで構成し、有識者による講演およびパネル討議が実施されました。2 日目(10 月 15 日)は、セッション 5「自動運転時代の“次世代の ITS 通信”と未来モビリティが創発する地域エコシステム」、セッション 6「通信業界と総務省の Z 世代が語る情報通信の成長戦略～デジタルネイティブが見据える 6G 時代の社会像～」、セッション 7「推し活×次世代通信 ～ファン＆舞台裏から見たスタジアム・ライブ会場の課題と魅力創造～」、セッション 8「6G 時代におけるスタートアップの役割と共創のあり方」の 4 セッションで構成し、有識者によるパネル討議が実施されました。

2 日間を通じて延べ 2,100 名を超える来場者が参加し(昨年実施した「5G/6G スペシャルデーⅡ」の約 1.9 倍)、一部セッションでは会場が満席となり立ち見が出るなど、大変盛況なワークショップとなりました。またオンラインについても 800 名を超える視聴がありました。

なおアーカイブ配信は、後日 XGMF ウェブサイトにて実施予定です。(URL：https://xgmf.jp/)

【1. 内容】

●1 日目　2026 年 10 月 14 日（水）

(1)　10:00～11:45　セッション 1「AI 時代の情報通信成長戦略」

登 壇 者：中尾彰宏氏(XGMF 代表、東京大学)、荻原直彦氏（総務省）、坪谷寿一氏(株式会社 NTT ドコモ)、吉村和幸氏(KDDI 株式会社)、丹波廣寅氏（ソフトバンク株式会社）、サッチン・ヴァーマ氏（楽天モバイル株式会社）

(2)　12:00～13:05　セッション 2「Why 6G：6G が描く未来社会と新たな価値」

登 壇 者：鹿島毅氏（エリクソン・ジャパン株式会社）、五十嵐大和氏（総務省）、城田雅一氏（クアルコムジャパン合同会社）、大槻知明氏（慶應義塾大学）、伊東克俊氏（ソニー株式会社）、中村元氏(株式会社 KDDI 総合研究所)

(3)　13:20～14:50　セッション 3「AI-Native 6G：通信と AI の融合で知能化する次世代通信基盤」

登 壇 者：磯部慎一氏(株式会社 NTT ドコモ)、山本俊明氏(株式会社 KDDI 総合研究所)、朽津光広氏（楽天モバイル株式会社）、野田真氏（エヌビディア合同会社）、船吉秀人氏（ソフトバンク株式会社）、中尾彰宏氏(XGMF 代表、東京大学)

(4)　15:10～16:30　セッション 4「NTN：6G 時代のユビキタスコネクティビティを拓く」

登 壇 者：豊嶋守生氏（国立研究開発法人情報通信研究機構）、上村征幸氏（ソフトバンク株式会社）、岸山祥久氏(株式会社 Space Compass)、Francis Yeh 氏（財團法人資訊工業策進會）、岩本定則氏(GreenBee 株式会社、Creative5（神盾衛星））、大島正義氏（マーリンク株式会社）、城田真吾氏（シャープ株式会社）、春山太一氏（株式会社構造計画研究所）、杉本聡氏(DX 通信株式会社)

●2 日目　2026 年 10 月 15 日（木）

(5)　10:00～11:00 セッション 5「自動運転時代の“次世代の ITS 通信”と未来モビリティが創発する地域エコシステム」

登 壇 者：志賀俊之氏（ダイナミックマッププラットフォーム株式会社）、松田慧氏(KDDI スマートモビリティ株式会社)、加藤真平氏（株式会社ティアフォー）、田中隆浩氏（総務省）、大山りか氏(株式会社 ONBOARD)

(6)　11:15～12:10 セッション 6「通信業界と総務省の Z 世代が語る情報通信の成長戦略 ～デジタルネイティブが見据える 6G 時代の社会像～」

登 壇 者：今井拓也氏（総務省）、川﨑祥子氏（総務省）、立石翼氏(NTT 東日本株式会社)、中嶋洸平氏(Sharing Design 株式会社)、清川優里奈氏(1FINITY 株式会社)、藤井祐衣氏（楽天モバイル株式会社）

(7)　12:20～13:20 セッション 7「推し活×次世代通信 ～ファン＆舞台裏から見たスタジアム・ライブ会場の課題と魅力創造～」

登 壇 者：多田夏帆氏(株式会社 Oshicoco)、大津康治氏（ソニーワイヤレスコミュニケーションズ株式会社）、ゆん氏（グラフィックデザイナ）、吉井大二郎氏（株式会社村田製作所）

(8)　13:35～14:30 セッション 8「6G 時代におけるスタートアップの役割と共創のあり方」
登 壇 者：瀬田尚子氏（総務省）、笹原優子氏(株式会社 NTT ドコモ・ベンチャーズ)、廣瀬健人氏(FYRA 株式会社)、原田博司氏(XGMF 副代表、京都大学)、西岡誠治氏(XGMF 事務局長)

**【2. 開催概要】**

●1 日目　2026 年 10 月 14 日（水）

(1)　10:00～11:45　セッション 1　「AI 時代の情報通信成長戦略」

冒頭、XGMF 代表の中尾彰宏氏から 2 日間の国際ワークショップ「6G×AI が創る未来社会」について、開催挨拶がありました。




XGMF　中尾氏

次に総務省総合通信基盤局長の荻原直彦氏から、総務省が推進する通信政策と取り組みについて講演がありました。




総務省　荻原氏

次に自社ネットワークへの AI 取り込み戦略に関して、国内キャリア 4 名の方からの講演がありました。



NTT ドコモ　坪谷氏




KDDI　吉村氏




ソフトバンク　丹波氏




楽天モバイル　ヴァーマ氏

(2)　12:00～13:05　セッション 2「Why 6G：6G が描く未来社会と新たな価値」

冒頭、エリクソン・ジャパンの鹿島毅氏より、本セッションでは「6G とは何か？」、「6G がなぜ必要か？」、「6G 実現のために何が必要か？」について議論することが紹介されました。続いて産学官から 5 名の方より、自己紹介とメッセージをいただいた後、鹿島氏をモデレータとしてパネルディスカッションが行われました。




エリクソン・ジャパン　鹿島氏



総務省　五十嵐氏



クアルコムジャパン　城田氏



慶應義塾大学　大槻氏



ソニー　伊東氏



KDDI 総合研究所　中村氏



セッション 2　パネルディスカッションの様子

(3)　13:20～14:50　セッション 3「AI-Native 6G：通信と AI の融合で知能化する次世代通信基盤」

冒頭、XGMF の中尾氏より、本セッションでは、AI と通信の融合によって進化する AI-Native 6G に着目し、知能化する次世代通信基盤の姿を展望することが紹介されました。

続いて、5 名の方より各社の最新の取り組みや技術動向について説明があった後、中尾氏をモデレータとして、AI がネットワークにもたらす新たな可能性や価値、そして実現に向けた課題について、パネルディスカッションが行われました。




XGMF　代表　中尾氏



NTT ドコモ　磯部氏



KDDI 総合研究所　山本氏



楽天モバイル　朽津氏



エヌビディア　野田氏



ソフトバンク　船吉氏



セッション 3　パネルディスカッションの様子

(4)　15:10～16:30　セッション 4「NTN：6G 時代のユビキタスコネクティビティを拓く」

冒頭、NICT の豊嶋守生氏から、本セッションでは、6G のユビキタス接続の実現に向けた NTN インフラについて、その活用事例と将来展望について議論することが紹介されました。

続いて、3 名の方から NTN 活用の最新動向について講演がありました。




NICT　豊嶋氏




ソフトバンク　上村氏




Space Compass　岸山氏




財團法人資訊工業策進會　Yeh 氏

続いて、5 名の方から、NTN を活用した海上通信、モビリティ、防災、物流、観光 DX などのユースケースの紹介がありました。




GreenBee　岩本氏




マーリンク　大島氏




シャープ　城田氏




構造計画研究所　春山氏




DX 通信　杉本氏

その後、豊嶋氏をモデレータとして、台湾－石垣島フェリー航路をモデルケースに、スマート海洋プラットフォームの将来像についてパネルディスカッションが行われました。




セッション４　パネルディスカッションの様子

●2 日目　2026 年 10 月 15 日（木）

(5)　10:00～11:00 セッション 5「自動運転時代の“次世代の ITS 通信”と未来モビリティが創発する地域エコシステム」

冒頭、ONBOARD の大山りか氏より、本セッションでは、V2X 通信をはじめとする次世代 ITS 通信を組み込んだ持続可能な地域モビリティの実現を探り、総務省と業界のキーパーソンが新たな地域エコシステム構築に向けて多角的に議論することが紹介されました。

続いて、4 名の方より、自己紹介とメッセージをいただいた後、大山氏をモデレータとしてパネルディスカッションが行われました。



ONBOARD　大山氏



総務省　田中氏



ダイナミックマッププラットフォーム　志賀氏



KDDI スマートモビリティ　松田氏



ティアフォー　加藤氏




セッション５　パネルディスカッションの様子

(6)　11:15～12:10 セッション 6「通信業界と総務省の Z 世代が語る情報通信の成長戦略 ～デジタルネイティブが見据える 6G 時代の社会像～」

本セッションでは、情報通信分野の最前線で活躍する総務省や民間企業から 6 名の Z 世代の方が登壇し、デジタルネイティブならではの 2030 年の社会像をもとに、6G 時代を見据えた日本の成長戦略を語り合うパネルディスカッションが行われました。総務省の今井拓也氏をモデレータとして、行政や通信インフラなどそれぞれの立場から、6G がもたらす社会の変化や、国際競争力を高めるための具体策について議論されました。



総務省　今井氏



1FINITY　清川氏



Sharing Design　中嶋氏



楽天モバイル　藤井氏



NTT 東日本　立石氏



総務省　川﨑氏




セッション６　パネルディスカッションの様子

(7)　12:20～13:20 セッション７「推し活×次世代通信～ファン＆舞台裏から見たスタジアム・ライブ会場の課題と魅力創造～」

本セッションでは、村田製作所　吉井大二郎氏をモデレータとして、3 名の「推し活」産業の専門家と集客エリアのモバイル通信の専門家をパネリストに、ライブやスポーツ観戦などの「推し活」を題材に、通信インフラがファン体験やイベント運営をどう変革できるか、パネルディスカッションが行われました。



村田製作所　吉井氏



ソニーワイヤレスコミュニケーションズ
大津氏



Oshicoco　多田氏



グラフィックデザイナ　ゆん氏




セッション７　パネルディスカッションの様子

(8)　13:35～14:30 セッション８「6G 時代におけるスタートアップの役割と共創のあり方」

冒頭、XGMF 事務局長の西岡誠治氏から、本セッションでは、政策、投資・事業連携、スタートアップそれぞれの視点から、6G 時代にスタートアップが担う役割や目指す未来像を議論することが紹介されました。続いて、XGMF 副代表の原田博司氏から、6G、7G、8G 時代には一社だけで対応することは難しくスタートアップとの連携が不可欠であるとの指摘がありました。



XGMF　西岡氏




XGMF 副代表　原田氏

続いて、3 名の方からスタートアップ支援などの取り組みについて講演がありました。



総務省　瀬田氏



NTT ドコモ・ベンチャーズ
笹原氏



FYRA　廣瀬氏

続いて、西岡氏をモデレータとして、パネリストに講演者と原田氏を加えて、通信事業者をはじめとする既存企業との連携のあり方と、共創と社会実装を促進するために XGMF が果たすべき役割などについて、パネルディスカッションが行われました。




セッション８　パネルディスカッションの様子

最後に、西岡氏より閉会の挨拶があり、2 日間にわたるワークショップ「6G×AI が創る未来社会」の参加者・登壇者・関係者への謝辞とともに、このワークショップでは、通信、AI、NTN、モビリティ、スタートアップ、社会・文化的視点まで幅広いテーマについて活発な議論が行われたと総括した上で、「6G は AI と融合した次世代の社会基盤であり、その実現には産学官・スタートアップ・国際パートナが連携し、議論を具体的な行動につなげていくことが重要である」というメッセージで締めくくられました。




XGMF　西岡氏

## CEATEC2026 に出展

『CEATEC 2026』が、幕張メッセで 10 月 13 日（火）から 16 日（金）までの 4 日間で開催されました。また、CEATEC の公式 Web サイトでは 8 月 27 日（木）から 11 月 6 日（金）まで出展者詳細ページが公開されています。

今年の CEATEC は、「経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く」を開催趣旨とし、「Transformation－ 企業が、産業が、そして社会が変わる －」のテーマのもと、821 社/団体（昨年は 810 社/団体）が出展しました。

幕張メッセ会場には、4 日間の会期中に 112,373 名（同時開催の Japan Mobility Show Bizweek 2026 との合算。単独開催だった昨年は 98,884 名）が来場、企業や官公庁、研究機関の方々をはじめ、学生など、幅広い分野・世代の来場者で会場は賑わいました。

ARIB では、今年も同展示会に協力団体として参加し、幕張メッセ会場及び公式 Web サイト

にて、電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の当会の事業活動を紹介しました。また、来場者に電波の有効利用に対する関心や理解を深めていただくべく、今年度の電波功績賞※を受賞された技術のデモ展示やスライドショーによる紹介も実施しました。

※電波功績賞：
電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げられた個人又は団体を総務大臣表彰及びARIB 会長表彰として、毎年表彰しているもの。

CEATEC 2026 幕張メッセ会場登録来場者数と ARIB ブースでのアンケート実施

（人）

| | 10 月 13 日（火） | 10 月 14 日（水） | 10 月 15 日（木） | 10 月 16 日（金） | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 幕張メッセ会場<br>登録来場者数 | 25,637<br>(20,474) | 25,649<br>(23,433) | 28,397<br>(24,601) | 32,690<br>(30,376) | 112,373<br>(98,884) |
| ARIB ブース<br>アンケート実施者数 | 60<br>(68) | 67<br>(96) | 95<br>(110) | 117<br>(210) | 339<br>(484) |

(　)内は 2025 年の実績人数

●幕張メッセ　ARIB ブース




ARIB　ブース外観①
（手前は電波功績賞 スライドショー展示）




ARIB　ブース外観②



電波功績賞 デモ展示
（総務大臣賞）

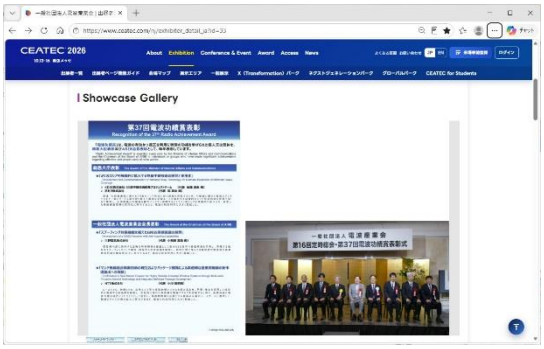
●公式 Web サイト(ARIB 出展紹介ページ)




ARIB 紹介トップ




活動内容




電波功績賞




電波功績賞
(ARIB 会長賞)

## 第 356 回 技術委員会（放送分野）を開催

第356回技術委員会（放送分野）を開催しました。

1　日　　時：2026年10月28日（水）15時30分～16時40分
2　場所・形態：当会第3会議室（Web会議併用）
3　議　　題：
(1)　第 127 回規格会議の結果について
(2)　放送国際標準化ワーキンググループ活動報告について
(3)　SET EXPO 2026 の概要およびブラジル TV3.0 の動向について
(4)　IBC2026 の概要について
(5)　ARIB-DVB 会合について
(6)　FoBTV Technical Committee 会合について
(7)　CEATEC 2026 での ARIB 出展報告について
(8)　その他

## ARIB 内会合(11 月 2 日～11 月 6 日)予定

11 月 5 日（木）：スタジオ設備開発部会　音声品質評価法作業班　　Web 会議

## 国際会合(11 月 2 日～11 月 6 日)予定

予定している会合はありません。

## *総務省などからのお知らせ*

### 令和 8 年総務省告示第 43 号(電波法施行規則第 7 条第 5 号の規定に基づく特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等を定める件)の一部を改正する告示案に関する意見募集
### ― 5.8GHz 帯ドローン用実験試験局の利用手続の簡素化 ―

**【令和 8 年 10 月 23 日発表】**

総務省は、5.8GHz 帯の周波数の電波を利用したドローン用無線局の実験運用を推進するため、令和 8 年総務省告示第 43 号（電波法施行規則第 7 条第 5 号の規定に基づく特定実験試験局として使用可能な周波数の範囲等を定める件）の一部を改正する告示案を作成しました。

本件について、令和 8 年 10 月 24 日（土）から令和 8 年 11 月 24 日（火）までの間、意見募集を行っています。

詳細については【令和 8 年 10 月 23 日の総務省報道資料】をご覧下さい。

### 周波数割当計画の一部を変更する告示案に係る意見募集
### ―26GHz 帯における第 5 世代移動通信システムの普及のための価額競争実施指針に係る価額競争の実施の結果の反映―

**【令和 8 年 10 月 23 日発表】**

総務省は、26GHz 帯における第 5 世代移動通信システムの普及のための価額競争実施指針(令和 8 年総務省告示第 71 号)に係る価額競争を実施し、特定高周波数無線局を開設することができる旨の認定を行った周波数について、周波数割当計画に記載するため、周波数割当計画の一部を変更する告示案を作成しました。

本告示案について、令和 8 年 10 月 24 日（土）から同年 11 月 24 日（火）までの間、意見募集を行っています。

詳細については【令和 8 年 10 月 23 日の総務省報道資料】をご覧下さい。

## 革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業
## 令和 8 年度電波有効利用研究開発プログラムの公募(第 2 回)

**【令和 8 年 10 月 23 日発表】**

総務省は、革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業を実施するため、令和 5 年 3 月に NICT に情報通信研究開発基金を造成し、令和 5 年度より NICT において運用を開始しています。

今般、NICT において革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業のうち、電波法第 103 条の 2 第 4 項第 3 号に規定する技術※の確立を目指し、電波の有効利用に資する研究開発を実施する電波有効利用研究開発プログラムの令和 8 年度研究開発プロジェクトの公募を実施しています。公募期間は令和 8 年 10 月 23 日（金）から同年 11 月 24 日（火）正午までです。

詳細については【令和 8 年 10 月 23 日の総務省報道資料】をご覧下さい。

※周波数を効率的に利用する技術、周波数の共同利用を促進する技術又は高い周波数への移行を促進する技術としておおむね五年以内に開発すべき技術

## 「MVNO に係る電気通信事業法及び電波法の適用関係に関するガイドライン」改定案に対する意見募集

**【令和 8 年 10 月 27 日発表】**

総務省は、移動通信分野において更なる競争促進を図り、一層多様かつ低廉なサービスの提供による利用者利益の実現を図るため、また、電波の公平かつ能率的な利用を確保するため、移動通信事業者(MNO: Mobile Network Operator)の無線ネットワークを活用して多様なサービスを提供する MVNO(Mobile Virtual Network Operator)の参入を促す観点から、「MVNO に係る電気通信事業法及び電波法の適用関係に関するガイドライン」（以下「MVNO ガイドライン」という。）を策定しています。

今般、令和 8 年 9 月 4 日（金）に取りまとめられた情報通信審議会「ネットワーク環境の変化を踏まえた接続政策等の在り方」第一次答申の指摘等を踏まえた所要の整備を行うため、MVNO ガイドラインを改定することとし、令和 8 年 10 月 28 日（水）から同年 11 月 26 日（木）までの間、改定案に対する意見募集を行っています。

詳細については【令和 8 年 10 月 27 日の総務省報道資料】をご覧下さい。

ARIB
Association of Radio Industries and Businesses
ARIB NEWS 発行所 一般社団法人 電波産業会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
https://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp